

暑い日は自宅で
ペットボトル
トレーニング

本当に飛距離
伸びます
by 齋藤大介

真夏の超大号

知らなかった!
ゴルフ場のSDGs
調べて
みたら...

WEEKLY GOLF DIGEST ゴルフ

8/22-29 合併
2023 No.32
特別
定価 550円

ダイジェスト

Aug. 2023 Volume58
Number 32

キヤメロンマニア宣言!
新連載

ファウラー・マキロイ・笹生・畑岡・岩井千・中島・平田
プロコーチと選んだ、上達できる飛ばし方

今見るべきは この7人!

連続写真
19P 大特集
あえて背面と
正面から



アイアンの
新スタンダード
女子プロも使う
7番ロフト30度

〈特別企画〉
残暑お見舞い
17選
サイン入りペブルビーチ
全米女子OPフラッグetc.

プロゴルファー
から夏ギフト

なるほどね
中尺マレットの
グリップを
余らせて打つ
写真で綴る
女子プロの
小さな夏休み

栃木・鹿沼グループの取り組み

「お客様の喜ぶ顔が見たい。その思いがSDGsにつながります」



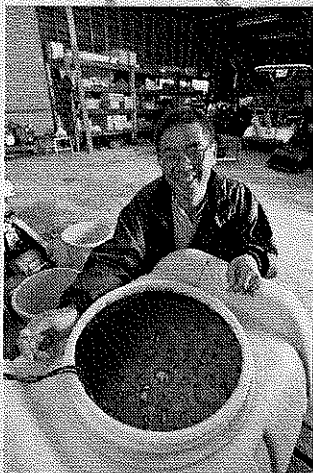
来年60周年を迎える鹿沼CCはゴルフ漫画「風の大地」の舞台で、45Hを持つ伝統あるゴルフ場だ。入社以来「鹿沼一筋」のレディスたち。総支配人も女性が務める

地域で、地球でリサイクル!

地元商社・コレトチの提案を受け、グループの使用済食用油の取引先、吉川油脂とコラボ。廃油をリサイクルしたハンドソープとリサイクルされたバイオ燃料を使い栽培されたミニトマト

食用油をハンドソープに

環境とつながって



「地域と連携してゴルファー以外の方にもゴルフ場を利用していただく。ゴルフ場は動かせないの、地域の方と一緒に作り上げていくことを大切にしています」

納豆やヨーグルトなど4種類の食材をゆるま湯で攪拌発酵させて自家製液肥に「市販品を購入していたときと比べると費用は1割程度。18ホールの液肥が5000円程度です」

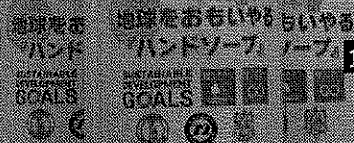
「地域と連携してゴルファー以外の方にもゴルフ場を利用していただく。ゴルフ場は動かせないの、地域の方と一緒に作り上げていくことを大切にしています」

は22年3月にSDGs宣言をし、地元での情報力を生かしての社会貢献・地域貢献、環境に配慮した事業活動を行うとともに省エネや廃棄物の削減を徹底し地球温暖化防止に貢献する、また、社員の働きがい向上やダイバーシティ経営の促進に取り組む健全な事業運営・継続を目指す、等の目標を立てた。

「メインバンクの足利銀行さんのすすめが大きいんです。当初は本格的なものではなくて、ひっそり

また、以前からコース管理の工夫の1つとして肥料を手作りしてきた。「管理費用は有名コースの1/4と限られており、手間と労力、アイデアでカバー。有機に変えて芝の活力や質感が変わりました」(豊田一弘グリーンキーパー)。
この肥料を使用し続けることで、土壌が改善され病気が出にくくなった。環境にも寄与している。
「廃プラ宣言で、売店のビニール袋を有料にしたり、プラスチックストローをやめたり。ただ、お風呂場のビニール袋だけは要望に沿って戻ってしまった。課題ですね」

鹿沼CC、鹿沼72CC、栃木ヶ丘GCの3コースを運営する鹿沼グループマーケティング広報部長の荒川磨理さんは、「弊社のビジョンは、また来たいと思ってもらえる、次のゴルフ場を創り出す、なんです」と語る。
昨年4月にビジョンが変わり「次のゴルフ場」がキーワードに追加された。ここに、鹿沼のSDGsの精神はある。鹿沼グループ

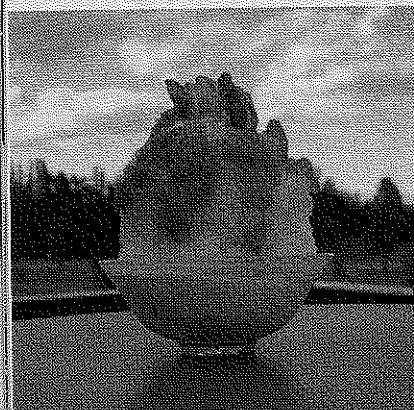


地域とつながって

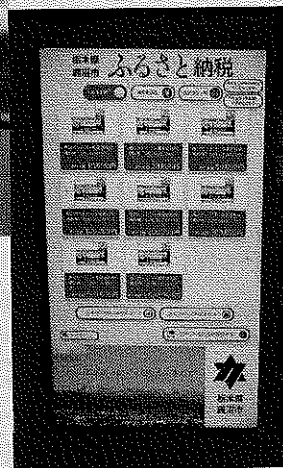
3コースの特徴も生かしながらイベントを開催。婚活イベントは計14組のカップルが誕生し、地元小学生参加のピッツァイベントや花火大会も大好評。今後も「ろくまるテラスビアガーデン」(鹿沼)「ゴルフ&キャンプ」(星月夜テラスディナー)(栃木ヶ丘)など目白押し!



栃木和牛や野菜等、地元産食材にもこだわる。暑い夏には日光の天然水を使った氷に、特産とちおとめの手作りシロップをかけたかき氷(鹿沼)がおススメ



昨年12月から、プレーのサービステケットがもらえる「ふるさと納税」の自動販売機を導入。「売り上げにびっくり、市への納税に貢献しています」

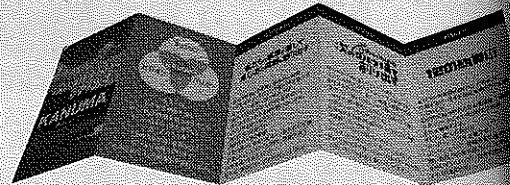


「縦割り組織を改め、若手も大抜擢しました。やる気もないと企業は育ちません」
そして、この夏始めたのが廃油をリサイクルしたハンドソープの3コースでの使用と、廃油をリサイクルしたバイオ燃料を使って栽培されたミニトマト「とまとま

少しずつ、確実に近づけていく。人権や労働、組織作りも、しっかり行われてきた。「3コースで



ダイバーシティの実現



約120名従業員がいますが、4割は新卒採用。毎年採用して研修などもしっかり行う効果です。地元採用も多く、男女関係なく活躍できます。役職者の3割が女性、幹部にも4名います」。

「縦割り組織を改め、若手も大抜擢しました。やる気もないと企業は育ちません」
そして、この夏始めたのが廃油をリサイクルしたハンドソープの3コースでの使用と、廃油をリサイクルしたバイオ燃料を使って栽培されたミニトマト「とまとま



働く老若男女、皆楽しそう。皆が持つビジョンカードやピンバッジで経営理念が浸透しているのがわかる。「私たちは民事再生企業ですが、しっかり立て直してきました」と言う誇らしげな荒川さんの顔がすべてを物語る

「自分たちがSDGsをやっているというイメージはそんなにないかもしれません。ただ、いろいろなことに誇りを持って取り組んでいます。イヤイヤではなくお客様の喜ぶ顔が見たいという思いで取り組んでいることが、SDGsにつながると思うんです。カラフルなロゴはあるけど、結局何をやっているの? というのはイヤでした。1つずつ、なんだと思います」

メンバーさんの反応は?
「もしかしたら、気づいてない方がいらっしやるかも(笑)。でも、実はメンバーさんには、スタッフと話をするのが好きで来ていたという方も多かったです。伝わる機会も多いと思います」

ここで撒かれたSDGsの種から、多くの芽が出るのだから。